



新顔6名をご紹介します



**氏名** 小澤 亨  
**所属** 大谷田ホーム  
**コメント** 座右の銘は、『人生いろいろ！いろんな事もある！！』  
目標は社会復帰です。  
自分のペースで頑張ります！



**氏名** 鈴木 陽子  
**所属** 大谷田ホーム  
**コメント** 野球が大好きです！  
巨人ファンです♪  
55番の大田泰示選手が大好きっ♪(照)



**氏名** 関口 敦  
**所属** 大谷田就労支援センター  
就労継続支援B型事業 軽作業・自転車事業室  
**コメント** 昔、秋田で鯉を釣って食べました♪おいしかった☆  
家では、キャバリアの「柚子」を飼っています。  
センターに連れてきたいなあ・・・♪



**氏名** 佐藤 均  
**所属** 大谷田就労支援センター  
就労継続支援B型事業 軽作業・自転車事業室  
**コメント** 趣味は、パチンコと映画鑑賞です♪  
アリオによく出没しています☆うろうろして  
ますよ～。まだ慣れていないため、月間を通し  
て通勤できるようにしたいです！



**氏名** 齊木 一貴  
**所属** 大谷田就労支援センター  
就労継続支援B型事業 パソコン事業室 職員  
**コメント** 趣味は、サンボ(格闘技)とワイン鑑賞、読書など色々持っています。  
みなさんに好かれるような職員になります！(汗)



**氏名** 門前 光俊  
**所属** 大谷田就労支援センター  
就労継続支援B型事業 パソコン事業室 職員  
**コメント** 趣味は、サッカー観戦♪  
バンドをやってました。(ちなみにドラムです☆)バンドメンバー募集中です♪♪  
早く一人前になれるように頑張ります！！

# OH! YATTA!!

オオ！

ヤッター！！

発行／足立区大谷田就労支援センター・足立区大谷田ホーム  
発行責任者／萩原 邦男

〒120-0001 東京都足立区大谷田1-44-3  
TEL:03-3605-6762 FAX:03-3605-7037  
URL:<http://www.ooyata.com>

今回の春号は『施設長コメント』、3月に行われた『防災訓練』、  
4月に行われた「第8回ふれあい桜まつり」の報告をお届けします。

## まだ払い続けなくちゃならない利用料

働くために、何故に利用料を払わなければならぬのか？この課題にまだ向き合わざるを得ません。

今年度から、特別区民税非課税世帯の方の利用料が無料になる報に接し、利用者の皆さんに朗報として報告をさせていただきましたが、Aさんから、「何故、俺は払い続けなくちゃならねんだ。俺たちみたいな障害者から何故、利用料を取るんだか分かんねえ。」との訴えがありました。単純に朗報と解した自分を反省するとともに、あらためて利用料なるものに腹が立つてしかたがありません。

Aさんは、「生活のためには今のマンションを出なければならぬえし、都営住宅の抽選にだって当らぬえ。」と、半端諦め顔ながら嘆いていました。「前は訓練費だって貰えたし、給食だってただだつたもん。月2回居酒屋に行くことがささやかな楽しみだったけど、今は、工賃から利用料を払うと2,000円しか手元に残らぬんだよ。2,000円じゃ、1日6時間半働いて100円の稼ぎでしかなく、何のために働いてるんだか分かんねえ。」と続きました。Aさんは、節約のためもあって昼飯抜きの生活を続けています。

就職したり他施設に移られた方を除いて、今年度も継続して大谷田就労支援センターを利用されている方は33名おられます。この33名の方の内、今回の改定によって利用料が無料となった方が27名、以前から無料だった方が2名、引き続き払い続けなければならない方が4名おられます。Aさん以外の3名の方も、利用料と工賃を比較すると、概ねAさんと同じような損得勘定になろうかなと思います。

障害をもって生まれたことは自己責任なのでしょうか。障害福祉サービスは、生きていくために最低必要な社会サービスであり、決して利益ではない。だから、「利益を受けたのだから負担しなさい」ということはどう考へてもおかしいと思います。ましてや、働くために利用料を払うなどということは、絶対に間違っていると思えてなりません。また、職業能力開発の訓練を受けている人には、逆に手当が支給されているという制度間の矛盾もあります。

利用料を払い続けなければならない人が少數になったとしても、障害福祉サービスの基本に觸れるこのことを忘れないようにしたいと思っています。

# 第8回『ふれあい桜まつり』

4月4日(日)花冷えの日、大谷田上自治会さんとの共催で『第8回ふれあい桜まつり』を開催しました。

来場者数は例年より少なめでしたが、模擬店、バザー、車椅子体験に参加していただき、近隣の足立東高校の和太鼓も楽しんでいただけたと思います。

今年の『桜まつり』は、見た目は例年と同じですが、実は準備の段階から違っていました。

例年は職員と地域の自治会長さんとの話し合いを進められていましたが、今年はセンターとホームからそれぞれ実行委員を選出し、話し合いを重ねてきました。

実行委員は職員に限らず、センターの利用者やホームの入居者も含まれています。

各部門の代表者として選出された委員の人たちは、会議での話し合いを繰り返してきました。

話し合いの内容を把握し、次の話し合いで何をするべきかを理解して行動した人もいました。

話し合いの内容が分からず、確認しないまま曖昧にして次の会議に出てしまった人や、次の会議の日程を忘れてしまっている人もいました。

お揃いのTシャツを作り、当日着ることになりました。その話し合いも繰り返されました。

ここに少し実行委員の人の声を載せてみます。

「今回の『桜まつり』の中で自分が担当していた『ぽっちゃんゲーム』は、想像した以上に人気があった。」

「訳が分からず実行委員長になり、中身も分からず上司や職員たちに教わり、無事に終わりホッとしています。来年はもっときちんと前準備をして成功させたいです。」

「バタバタ朝から追われたけど、みんなの協力で無事に終わりました。」

いろいろとありましたが、結局はみんなでつくった『桜まつり』でした。

来年はどんな『桜まつり』になるかは分かりませんが、今回の経験から自分たちができる発見をして来年も成功できればいいと思います。



## ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業海外研修生報告



2月初旬より、財団法人日本障害者リハビリーション協会様のご依頼により、パソコン研修が行われました。これは、『ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業』の一環で、様々な障害を持つ海外の方が、日本の福祉や社会の現状について、知識と見聞を広げることを目的として来日し、その一つとして、ホームページ・Word・Excelの研修をセンターで行いました。

研修以外にも、各々国の障害事情を聞いたり話したり、センターのメンバーも大変刺激を受けました。

ジャムナ・スペディさん、ネパールに帰国してもがんばってください。そしてお互いがんばりましょう!!!

↓『ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業』のサイトは[こちら](http://www.normanet.ne.jp/~duskin/)です。是非ご覧ください。

<http://www.normanet.ne.jp/~duskin/>

## 防災訓練実施

3月5日(金)施設中庭にて『大谷田上自治会』の方々と合同で防災訓練を行いました。

消防署の方たちから、火災が発生した際の注意事項・消火器の使用方法を実演形式で講義していただきました。

今回、教えていただいたことで大事なことは、火事が発生した時点で「火事だ〜!」と叫び、初期消火をしながらも他者に

火災の発生を報せ、消防署に通報してもらうということでした。初期の火災なら自分で消せると思うがちですが、本当に消えたかどうかまで確認することはなかなかに難しいとのこと。消防士の確かな経験と知識でしっかりと火を消してもらうことが大切なようです。

皆さんも、いざというときに備えて、ご家庭の消火器点検・使用方法の再確認してみては如何でしょうか?

